10の指標にみる福島県の復興 Ver.4

平成26年10月1日

Δ 60.0

H20 H21 H22 H23 H24 H25

◎ 人口に関する指標

1 総人口(年初人口) 対前年比0.7%の減。 (出生4.9%の増、転入9.8%の増、転出15.7%の減。) ※出典:「福島県の推計人口(福島県現住人口調査年報)」 平成11年以降16年連続で減少している。 平成24 デージング 死亡 → 総人口 (万人) へへ 転出 年には東日本大震災(以下「震災」という)の影響から 215 大幅な減少となったが、その後は転出者が減少したこと 40 20 210 や転入者が増加したこと等により、人口の減少幅は緩や 205 0 かになっている。 200 -20 対 H22年比 指数(H22=100) 195 -40 190 -60 95.3 185 -80 180 -100 0.0 20.0 40.0 60.0 100.0 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 2 社会動態 (生産年齢人口及び年少人口) 転入 : 対前年比14.7%の増。2年連続のプラス 転出: 対前年比20.5%の減。2年連続のマイナス。 ※出典:「福島県の推計人口(福島県現住人口調査年報)」 震災時には、転入減及び女性と年少世代の転出が大幅 ______ 生産男性 生産女性 増となった。平成25年には、男性の転入については震 40,000 20,000 災前の水準に戻り、女性と年少世代も着実に回復しつつ 20,000 10,000 ある。転出についてはいずれの層も震災前より低い水準 ↑転入 0 0 に抑えられている。 対 H22年比 指数(H22=100) -20.000 -10,000 ☑転入 図転出 100.1 -40.000 -20.000 H25 -60.000 -30.000 0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0 120.0 H20 H21 H22 H23 H24 H25 **NEW!** 3 里帰り出産件数 (県内15医療機関) 対前年比37.8%の増。2年連続のプラス。 ※出典:福島県産婦人科医会業務資料 震災の影響により平成23年は半数近くまで減少した (前年比:%) (件) が、平成25年にはほぼ震災前の件数まで戻っており、 1,500 60.0 1 250 県内で出産することへの不安感が払拭されつつあるもの 1 250 40.0 と見られる。 1.000 20.0 (※県外避難者が出産のために一時帰還した場合を含む。) 0.0 750 対 H22年比 指数(H22=100) 500 Δ 20.0 Δ 40.0 250 H25 81 7

◎ 経済に関する指標

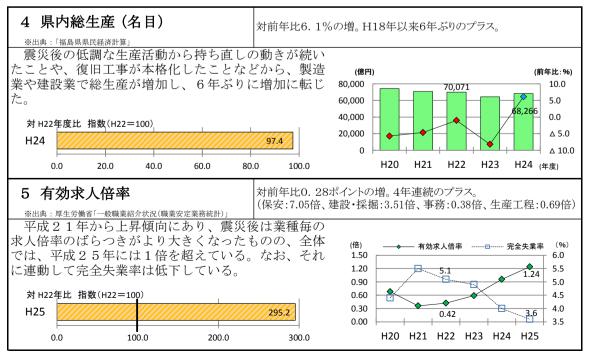
20.0

40.0

60.0

80 O

0.0



100.0

6 工場立地件数 対前年比±0%。 ※出典:県企業立地課業務資料 平成21年はリーマンショックの影響で大きく落ち込んだが、その後回復基調となり、平成24年には震災後 ※ 網掛けは補助制度利用による立地件数 (前年比:%) の復興需要や補助制度の創設により大幅な増となった 120 120.0 なお、立地件数のうち同補助制度の利活用件数は、平成 100 40.0 80 24年が65件、平成25年が82件となっている。 60 0.0 対 H22年比 指数(H22=100) 40 Δ 40.0 20 Δ 80.0 242.9 Δ 120.0 H20 H21 H22 H23 H24 H25 0.0 100.0 200.0 300.0 . ㈱東北電力との **NEW!** 7 太陽光発電購入容量 対前年比127.3%の増。5年連続のプラス。 電力購入契約の ※出典:県エネルギー課業務資料 震災以前から増加傾向にあったが、特に震災後は、再 (kW) (前年比:%) 生可能エネルギーの推進が復興に向けた重点プロジェク 300,000 150.0 トの一つに位置付けられ、助成制度の拡充等により大き 250,000 125.0 な伸びとなっている。また、設備設置の低価格化が進 200.000 100.0 み、契約1件あたりの容量も増えてきている。 150.000 75.0 100,000 50.0 対 H22年比 指数(H22=100) 25.0 50,000 H25 422 6 0.0 H20 H21 H22 H23 H24 H25_(年度) 0.0 100.0 200.0 300.0 400.0 500.0 8 観光客入込数 対前年比8.7%の増。2年連続のプラス。 ※出典:県観光交流課「観光客入込状況」 震災直後は県内全域で入込数が減少したが、大河ドラ 「八重の桜」などを好機として積極的に観光誘客に取 (前年比:%) (千人) 57.179 り組んだ結果、平成25年は県内7方部全ての地域で前 60 000 40.0 48,315 年を上回った。特に会津地方は、対前年比13.3%と 45,000 20.0 伸び率が大きかった。 30.000 0.0 対 H22年比 指数(H22=100) 15,000 Δ 20.0 H25 84.5 0 Δ 40.0 H20 H21 H22 H23 H24 H25 0.0 20.0 40.0 60.0 80 O 100.0 **NEW!** 9 教育旅行宿泊延べ人数 対前年比32.7%の増。2年連続のプラス。 ※出典: 県観光交流課「福島県教育旅行入込調査」 震災の影響により平成23年度は大きく落ち込んだ が、積極的な情報発信、誘致活動や風評払拭のための (前年比:%) (人) 活動などの取り組みにより、徐々にではあるが回復傾 800,000 100.0 673.912 向が窺える。 600,000 50.0 318,618 400.000 0.0 対 H22年度比 指数(H22=100) 200,000 Δ 50.0 H25 47.3 Δ 100.0 H20 H21 H22 H23 H24 H25 (年度) 0.0 20.0 40.0 60.0 100.0 80.0 10 新規高卒者の就職内定率 対前年比0.4%の増。3年連続のプラス。 ※出典:県雇用労政課業務資料 震災年度に一時落ち込んだものの、その後は復興需要 各年度末卒業生の翌6月末における就職内定率 や景気回復傾向による採用増などから上昇し、平成25 (%) (前年比:%) 年度には、平成19年度以来の高い水準となっている。 100.0 6.0 また、県内企業への就職割合(県内留保率)について 95.0 4.0 90.0 2.0 も、81.9%と平成17年度以来の高水準となった。 85.0 0.0 対 H21年度比 指数(H21=100) 80.0 $\Delta~2.0$ 75.0 Δ 4.0 H25 101 6

※ 各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計(ふくしま統計情報BOX等)をご覧ください。

50.0

0.0

100.0

150.0

H20 H21 H22 H23 H24 H25 (年度)